

記者発表(発表・資料配布)				
月/日 (曜日)	事務所等名	電話	発表者 (担当者)	配布先
10/4 (金)	県立農林水産技術総合センター (病虫害防除所)	0790-47-1222	病虫害防除所長 (望月 証)	北播磨県民局 県庁記者クラブ

**令和6年度病虫害発生予察注意報 第4号**  
**「ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウの発生状況と防除対策」について**

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）が実施したハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウのフェロモントラップでの成虫の誘殺数が9月以降<sup>ほ</sup>平年より多く推移しており、圃場でも幼虫の発生が広く確認されています。今後の気温が平年より高い状態で推移すると予想されていることから、野菜類を中心に被害が多くなるおそれがあります。ついては、関係機関からの指導を促すため、「病虫害発生予察注意報 第4号」を発表します。

記

- 1 対象作物 野菜類、花き類、豆類
- 2 病虫害名 ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ
- 3 発生地域 県内全域
- 4 内容 詳細は別紙「令和6年度病虫害発生予察注意報 第4号」のとおり

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）は、農作物を加害する病虫害の発生状況を調査するとともに、その後の発生を予測し、普及指導員やJAの営農指導員等に「予察情報」として提供しています。また、農業生産現場から持ち込まれた病虫害の診断も行っています。

農技第1755号  
令和6年10月4日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和6年度病害虫発生予察注意報 第4号を公表します。

ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウのフェロモントラップでの成虫の誘殺数が9月以降平年より多く推移しており、圃場でも幼虫の発生が広く確認されています。今後の気温が平年より高い状態で推移すると予想されていることから、野菜類を中心に被害が多くなるおそれがあります。圃場における発生状況に注意して、適切な防除指導をお願いします。

#### 令和6年度病害虫発生予察注意報 第4号

##### 「ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウの発生状況と防除対策」

1 対象作物	野菜類・花き類・豆類
2 病害虫名	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ
3 発生地域	県内全域
4 発生程度	多い
5 発生時期	10月上旬～11月下旬
6 発生状況	

##### (1) ハスモンヨトウの発生状況

- ①加西市に設置しているフェロモントラップにおいて、9月中旬以降、成虫の誘殺数が平年を大きく上回っている（図1）。
- ②9月下旬に実施した大豆圃場巡回調査において、発生ほ場率が100%（12地点/12地点）となり注意報を公表した昨年同時期の75%（9地点/12地点）に比べて高かった。1aあたりの白変葉（群棲する若齢幼虫による食害：写真1）も10か所（昨年同時期3.4か所）と多かった。
- ③9月下旬に加西市の大豆予察圃場で実施した調査では、1aあたりの白変葉が、白大豆で8か所（平年1.1か所）、黒大豆で6か所（平年1.1か所）と、平年より多かった。

④阪神地域のキャベツ圃場、播磨地域のキャベツ、だいこん、はくさい及びブロッコリー圃場、淡路地域のキャベツ、レタス圃場において広く幼虫の発生を認めている。

(2) シロイチモジヨトウの発生状況

①加西市に設置しているフェロモントラップにおいて9月以降、成虫の誘殺数が平年を上回っている(図2)。

②阪神地域のキャベツ、播磨地域のキャベツ、ねぎ及びブロッコリー圃場、淡路地域のキャベツ、ねぎ、たまねぎ及びレタス圃場において幼虫の発生を広く認めている。

## 7 今後の予想

(1) 大阪管区気象台の近畿地方の1か月予報(9月26日発表)によると、近畿地方の向こう1か月の気温は平年より高い状態で推移すると予想されている。

(2) これまでに成虫の活動が活発な状態であったことから、今後しばらくこの状態が続くと考えられ、幼虫が多発し被害も長期に及ぶことが懸念される。

## 8 防除上の留意点

(1) 両種とも加害作物は、キャベツ、はくさい等の野菜類から、カーネーション、きく等の花き類、大豆、小豆等の豆類と広範囲に及ぶ。

(2) 卵は鱗毛で覆われた卵塊で産み付けられ、孵化直後の若齢幼虫は集団で加害する(例:写真1、3、4)。卵塊や分散する前の若齢幼虫の早期発見に努め、速やかに捕殺する。

(3) 成虫の産卵防止対策には防虫ネット(目合4mm以下)、黄色灯、性フェロモン剤(交信かく乱剤)の利用が有効である。

(4) 中・老齢幼虫には殺虫剤の効果が低くなるので、薬剤防除は若齢幼虫期に行う。シロイチモジヨトウでは、一部のジアミド系薬剤の殺虫効果が低く、圃場間差もみられているので、使用にあたっては防除効果の確認に努める。

(5) 薬剤散布を行う場合は、農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し農薬使用基準を守る。<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

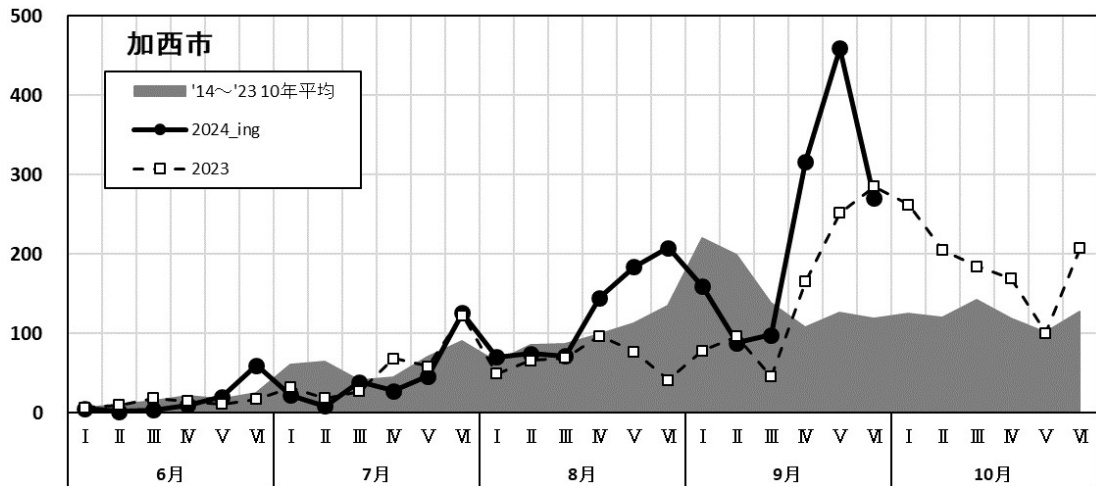


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ誘殺数の推移

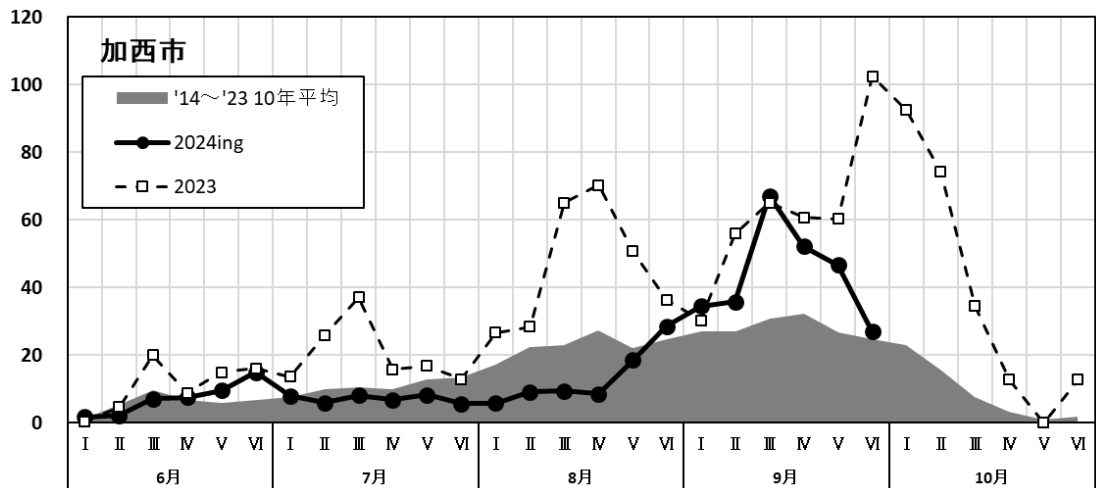


図2 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ誘殺数の推移



写真1 ハスモンヨトウ  
 (左: 白変葉、中: 若齢幼虫、右: 卵塊 ※白変葉: 初期被害葉)





写真2 中齢幼虫

(左：ハスモンヨトウ頭部の後ろに1対の斑紋、右：シロイチモジヨトウ)



写真3 ハスモンヨトウによるキャベツ被害葉



写真4 シロイチモジヨトウによる被害葉

(左：大豆、中：ねぎ、右：カーネーション)

\*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

\*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

\*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。

フォローをお願いします。

Xアカウント ([https://twitter.com/hyogo\\_boujoshou](https://twitter.com/hyogo_boujoshou))

